

昭和52年度施政方針

昭和 5 2 年 度 施 政 方 針

昭和 5 2 年 第 一 回 定 例 議 会 を 開 催 す る に 当 た り、私 の 市 政 に 対 す る 所 信 の 一 端 と 新 年 度 の 施 策 の 大 綱 に つ い て 申 し 上 げ た い と 思 い ま す が、は じ め に 不 況 と イ ン フ レ の 中 で 市 政 を 推 進 す る に 当 た り、議 員 各 位 並 び に 市 民 各 位 の 深 い 御 理 解 と 力 強 い 御 協 力 に よ り ま し て、円 滑 な 市 政 運 営 が で き て お り ま す こ と を 心 か ら 感 謝 申 し 上 げ ま す。

特 に オ イ ル シ ョ ッ ク 以 来、ほ と ん ど の 地 方 自 治 体 で は、行 政 推 進 に 当 た っ て 停 滯 を 余 儀 な く さ れ た に も か か わ ら ず、当 市 は 高 度 成 長 期 と は ほ 同 じ ベ ー ス で 着 々 と 各 施 設 が 整 備 さ れ、先 進 市 に 伍 し て い く 力 を た く わ え つ つ あ り ま す こ と は、本 日 御 参 集 の 議 員 各 位 の 御 尽 力 の 賜 物 と 改 め て 深 く 感 謝 申 し 上 げ る 次 第 で あ り ま す。

お か げ さ ま で、快 適 で 安 全 な 市 民 生 活 の た め の 基 本 的 施 策 で あ る 生 活 環 境 の 整 備 は 大 き な 進 歩 を み る こ と が で き ま し た。

一 例 を 申 し 上 げ ま す と 道 路 舗 装 率 は 約 9 1 パ ー セ ン ト、ま た、義 務 教 育 施 設 に お け る 校 舎 の 鉄 筋 化 率 や 学 校 規 模 の 適 正 化 な ど、い ず れ も 高 水 準 に 整 備 さ れ、市 民 一 人 当 た り の 公 園 面 積 に お い て は 3.4 平 方 メ ー ト ル と 都 下 の 市 町 村 の 中 で は、ト ッ プ ク ラ ス の 整 備 率 を 誇 る ま で に な り ま し た。

ま た、近 代 的 な 市 民 生 活 に と っ て 欠 く こ と の で き ぬ 下 水 道 事 業 も 着 々 と 整 備 さ れ る と 共 に こ れ ら 基 礎 的 な 市 民 福 祉 対 策 と 合 せ、よ り 豊 か に 生 き る こ と を 望 む 人 々 の 精 神 的 福 祉 の 増 進 の た め の 市 民 会 館、公 民 館、地 域 会 館 等 の 教 育 文 化 施 設 も と み に 整 備 さ れ、近 代 都 市 と し て の 風 土 の 醸 成 の た め の 形 態 を 整 え て ま い り ま し た。

地 方 自 治 体 の 究 極 目 標 で あ る 真 の 福 祉 社 会 と は、基 礎 的 な 福 祉 施 策 と 精 神 的 福 祉 施 策 を 充 実 さ せ、人 間 に と っ て 最 も ふ さ わ し い 都 市 環 境 を つ くり、こ の 中 に 生 き 生 き と し た 市 民 が 住 み、互 に 助 け 合 い、文 化 を 創 造 し て い く こ と で あ り ま す が、議 員 各 位 並 び に 市 民 各 位 の 御 指 導 と 御 協 力 に よ り、よ う や く 福 生 市 政 も こ の 理 想 郷 の 灯 が 見 え は じ め る 道 程 を た ど り つ つ あ る と 言 う こ と が 出 来 る と 思 わ れ ま す。

さ て、今 日 の 社 会 情 勢 を み ま す と、長 い 間 無 限 の 物 質 的 豊 か さ を 追 求 し て き た 人 類 は、資 源 有 限 時 代 と い う 歴 史 的 局 面 を む か え、新 し い 人 間 生 活 の あ り 方 を 模 索 し な け れ ば な ら ない 時 代 を む か え て お り ま す が、今 後 の 安 定 経 済 成 長 路 線 下 の 地 方 自 治 体 に お い て も、同 様 の 命 題 が 課 せ ら れ て お り ま す。

そ こ で、こ れ ら の 課 題 に 地 方 自 治 体 と し て ど う 対 処 し て い く べ き か、新 年 度 を む か え る に 当 た っ て、私 の 所 見 を 若 干 述 べ さ せ て い た だ き た い と 思 い ま す。

私 は 今 ま で、機 会 あ る こ と に 市 政 運 営 に お け る 教 育 の 重 要 性 に つ い て 述 べ て ま い り ま し た が、新 年 度 は、完 成 し た 市 民 会 館、公 民 館、地 域 会 館 を 中 心 に 市 民 各 位 が、文 化 教 育 活 動 を 通 し て、

一層人格と教養の向上を図り、創造性豊かな人間になることを切に望むものであります。また、このことは単に一個人の問題としてではなく、これからの社会のあり方更には日本のあり方としても、きわめて重要であると思うのであります。

と申しますのは、真の福祉社会の実現はすべて、これを支える人間にかかわってくるわけであり、今後の低経済成長下また資源有限時代にあつては、行政の力のみでは、ますます限界があることが、明白であるからであります。

このためには、市民自身も「市が自分のために何をしてくれるかでなく、市のために自分は何をなすべきか。」を考え、自治体という共同社会の中で、個人としての明確なる目標を持ち、自らの責任と使命をかみしめていただきたいと思うのであります。

言いかえれば、全ての市民が社会連帯への強い関心と呼びおこし、地域ぐるみで福祉社会を築くことが今日ほど強く求められている時はなく、このことが基本とならなければこれからの地方自治体の進路は切り開かれまいと考えるものであります。

たとえば、一つの例をあげますと、最も身近な問題として年々処理費の増大するゴミ問題があげられますが、この問題を抜本的に解決していくにはなんと言っても、市民自身が自分の問題としてこの問題をうけとめ、ゴミの排出量を減少させることが根本であります。

また、市民の理解と協力により、ゴミ減量が出来れば、多くの財源が他の部門に投入でき市民自身にとっても自らの福祉の向上に寄与するわけであります。

しかし、現在のような状態が続けば、市民自身が自らのゴミに埋もれることは、火を見るより明らかであり、ここに自治体運営における市民の理解と協力が如何に必要であるかおわかりいただけると思います。

また、共に人間としての幸福を分かち合うための恵まれない方々への福祉対策にしても、従来は行政と関係者間の受給制度的な色彩が強くありましたが、この問題は、行政の力のみならず全市民が共同社会の中で、みんなの問題として受けとめ、助け合いのために行動せずにはいられない市民社会をつくらなければ不変のものとしての社会福祉制度も、景気の後退でしばむ結果になりかねないのであります。

以上、市政運営における市民一人一人の理性と自立の精神に支えられた地域社会の重要性について述べましたが、この問題は今後の社会のあり方としてきわめて大切な問題であると考えるのであります。

次に行政推進の基本姿勢であります。前年度と同様、総力をあげて事務事業の点検を行い、合理的な行政運営に取り組んでまいります。また、職員採用についても、従来どおり極力抑制の方針を貫き弾力的な人事管理により時代の要請に応えていきたいと思っております。特に職員資質の向上のためには、最大限の努力をしております。

なお、横田基地問題については、米軍の韓国撤退も話題となっておりますが従来の方針どおり対処していくと共に基地から派生するさまざまな問題については全力をあげて解決を図っていきたいと考えます。

以上、新年度の市政運営の基本的な考え方について申し上げましたが、次に昭和52年度の施策の概要について申し上げます。

予算総額は一般、特別、受託水道事業を合わせますと、82億3,933万1千円で、前年に比べ2.4パーセントの低い伸び率ですが、これは、一般会計において、中央幹線排水路工事や武蔵野幹線排水路工事及び市民会館など大規模な建設事業が完成したためであります。

施策の特色としては、生活環境整備事業と併行して、新たに完成した市民会館、公民館、地域会館等を中心とした教育文化施策をすすめていくことであります。

以下、福生市基本構想に基づく三本の柱ごとに特徴的な施策について触れてみます。

1 健康で幸せな市民生活を守るために

市民の健康管理体制の強化を図るため、保健衛生センターの建設をすすめたいと思います。これは本年完成する都の保健所及び福生市医師会との連携を図りながら、休日診療、各種検診、予防注射及び市民の健康増進施策を積極的にすすめ、福祉と健康の結合を図っていくためのものであります。

生活環境整備事業としては、その完成が急がれる下水道事業を前年に引き続き積極的に実施してまいります。西地区污水管排水路整備事業も実施します。

なお、雨水排水幹線事業は、本町幹線排水路事業を残すのみとなりましたが、この事業が完了いたしますと、全国的にも誇れる整備状況となりますので、一日も早く実現できますよう議会の御協力を賜りながら関係機関へ要望していきたいと思っております。

福祉対策の充実としては、新たに寝たきり老人の寝具乾燥を委託し実施していくほかに、民間保育所振興補助金、未就園児入学祝金、国民健康保険会計への繰出金の増額を図りました。

防災対策としては、消防車一台購入のほか防火貯水槽の整備を図ります。

2 魅力にあふれる住みよいまちにするために

加美平区画整理事業は大変遅れて御迷惑をおかけしておりましたが、議員各位並びに関係者の御努力によりまして懸案の道路も着工の見通しがつきましたので、年度内の完了を旨として事業をすすめてまいりたいと思っております。

また、東口区画整理事業も、市議会及び関係者の御努力によって着実に進行しつつありますが、新年度も一層の御指導と御協力をいただきながら、取り組んでいきたいと思っております。

なお、福生駅西口再開発問題につきましては、地元関係者の研究組織も生まれ、活動しているのは誠に喜ばしい限りであります。東西連絡路の完成により福生駅東西の一体となつ

た商業活動のあり方が一層問われると思われまますので、関係者各位の創意と意欲の喚起を切望するものであります。

道路整備としては新設改良に十分留意いたしました。公園緑地対策としては、増加するスポーツ人口に対処するため、牛浜野球場をナイター設備を伴う本格的な野球場に改修する計画をすすめるほか、熊川南田園地域に三か年計画のソフトボール場を完成させます。また、失なわれゆく自然林を保護し貴重な緑の空間として保存するため、熊牛地区の雑木林を引き続き買収いたしたいと思ひます。なお、公園における事故にそなえ公園利用者損害保険に加入いたしたいと思ひます。

次に商工対策であります。関係者の強い御要望でありました商工研修所が困難な事業にもかかわらず議員各位と関係者の御努力によりまして建設をすすめることができますことを深く感謝申し上げます。

3 豊かな人間性と文化を育むために

市民会館、公民館、熊川地域会館が完成し、既設のわかぎり会館とあわせ中央施設との連携による市民文化活動の体制が整ってまいりましたので、これらの施設を拠点として教育文化活動を活発に行っていきたいと思ひますが、地域の文化活動をより活発化するため、本町中央地区に地域会館を建設したいと思ひます。

なお、市民会館の開館行事には、広く市民を招待するほか、市民による芸能祭を予定しております。

社会体育施策としては、市民体育館を中心にスポーツの振興を図ってまいりましたが、地域に密着したスポーツ活動を行いスポーツを通してのコミュニティの醸成を図るために、一部学校体育施設の開放によるスポーツの振興を図ってまいりたいと思ひます。なお、市営プールは塗装や循環装置がいたんできましたので改良工事を行いたいと思ひます。

また、長い間据置かれた市営プールの料金は、水道料金の値上げ等により維持費も増大してまいりましたが、他市との均衡も考慮して適正料金に改定いたしたいと思ひますので、よろしく御理解のほどお願い申し上げます。

学校教育施策としては、五小、二中の防音増築工事、一小、一中のアルミサッシの取替工事を行うほか、増加する児童に対処するため、八小用地の候補地を選定してまいりたいと思ひます。

児童生徒への配慮としては、二小に特殊学級を開設するほか、小、中の卒業生全員に記念品を送りたいと思ひます。

以上、昭和52年度の特徴的な施策についてふれてまいりましたが、新年度は多くの施設が完成し、行政という縦糸とこれらの施設を中心に生まれるであろう市民活動という横糸が互いに交

差し、福生市政という美しい絵模様を織りなしていくためのスタートとも言える年であります。

私は議員各位並びに市民各位の御理解と御協力によりまして、市の中央の高台に偉容を見せる市民会館を仰ぎ見るとき、この建物を中心とする活動が市民の結束を促し、ここを拠点に常に新しきものが創造され未来、永劫に向っての人々の飽くことのない進歩への可能性を追求する場とならんことを切望するものであります。

終りに臨み、議員各位並びに市民各位の御理解と御協力をお願いいたしまして私の所信の発表を終わります。